

# デジタル通貨勉強会

## 第8回

2020/9/17

# 第8回 アジェンダ

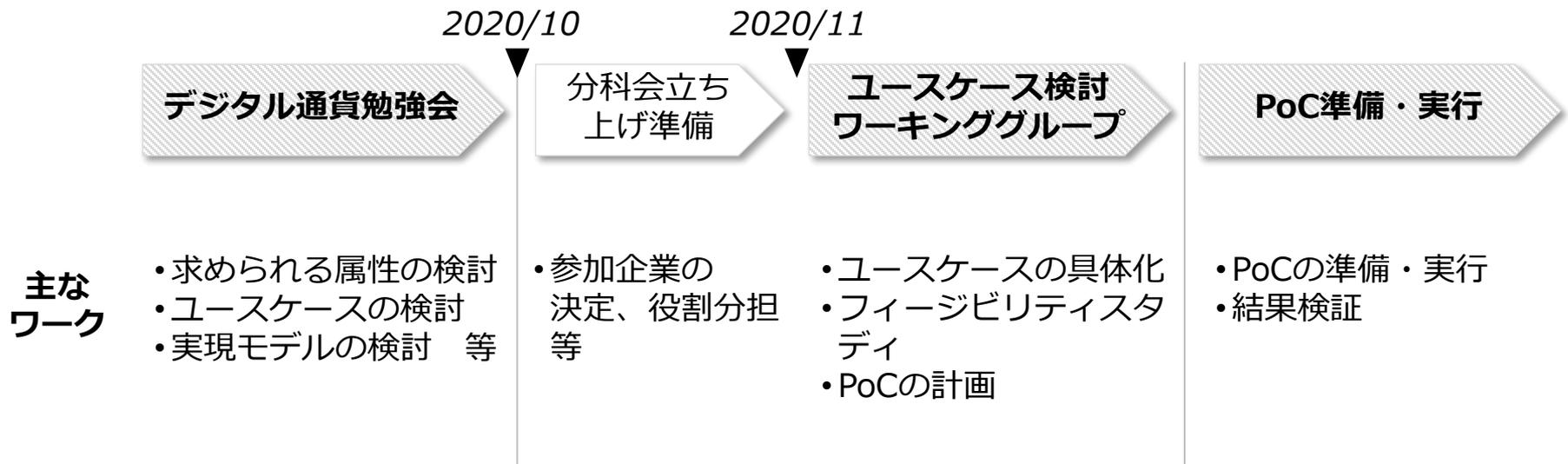
1. 今後の推進計画 . . . 30分

2. 追加のPoC案 . . . 30分

3. 事務局より連絡事項 . . . 5分

## 今後の推進アプローチ

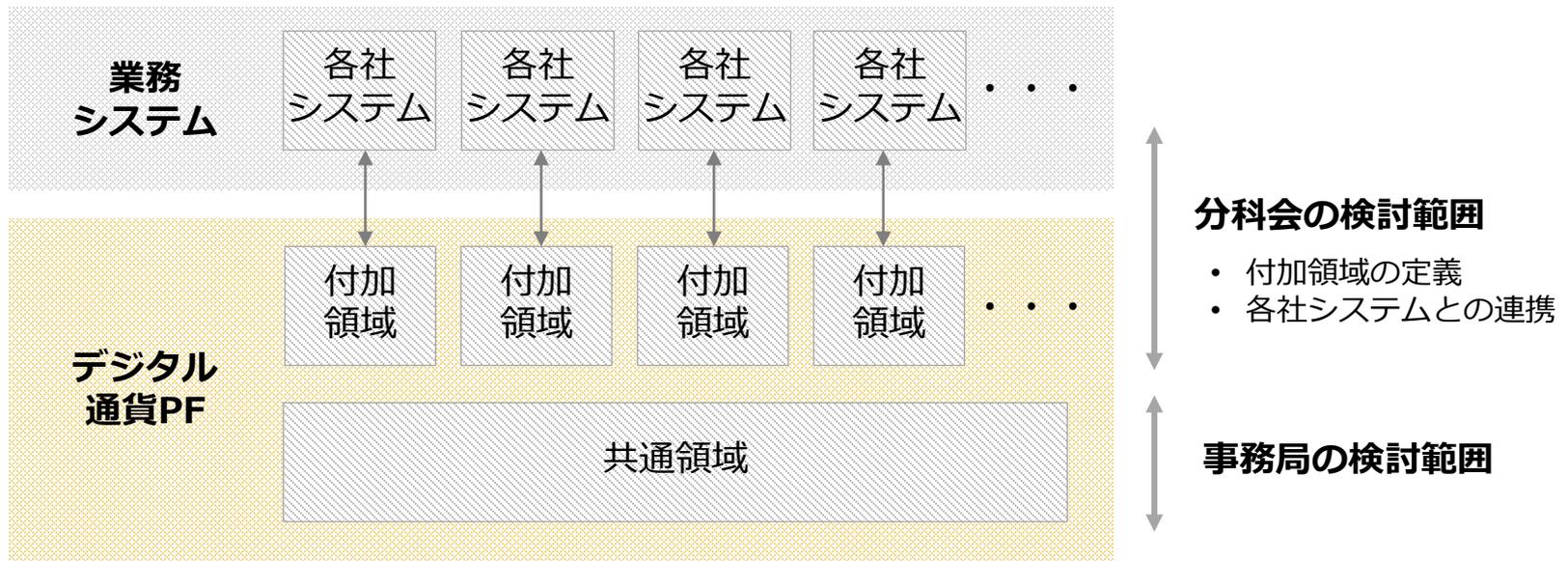
デジタル通貨勉強会は9月末で閉会とし、新たに、勉強会の検討結果をベースにユースケースの具体的検討を進める複数の分科会（仮称）を置き、PoCの実施に向けた準備を進める。あわせて、これを包摂する全体会も設ける。



# 検討スコープ

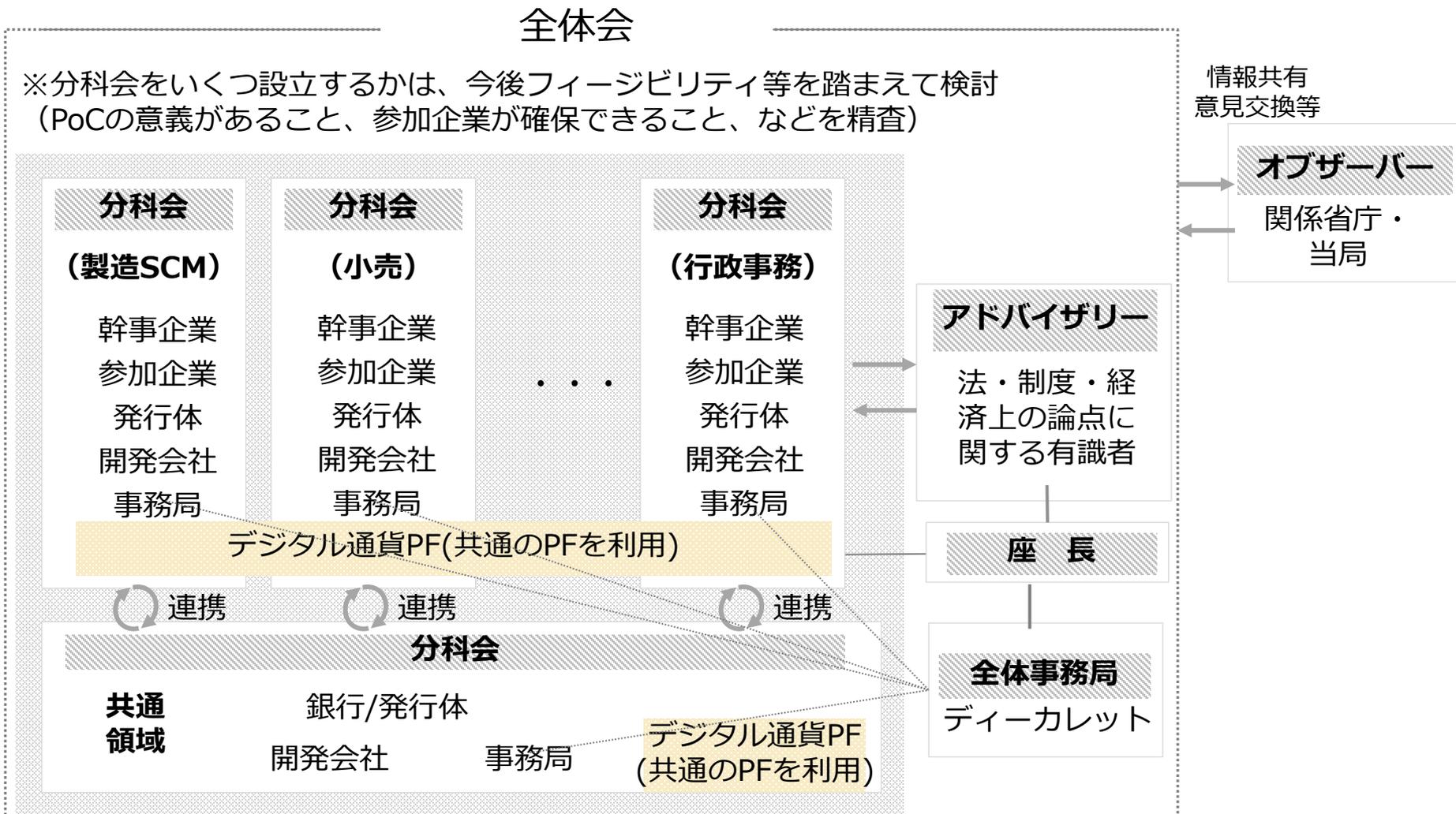
分科会は主に付加領域の定義と、各社既存システムとの連携が検討対象と想定  
共通領域は全分科会・全ケース共通のものとする

## 分科会の検討範囲



# 今後の推進体制 - 体制図

## 推進体制図



# 今後の推進体制 - 役割

## 役割

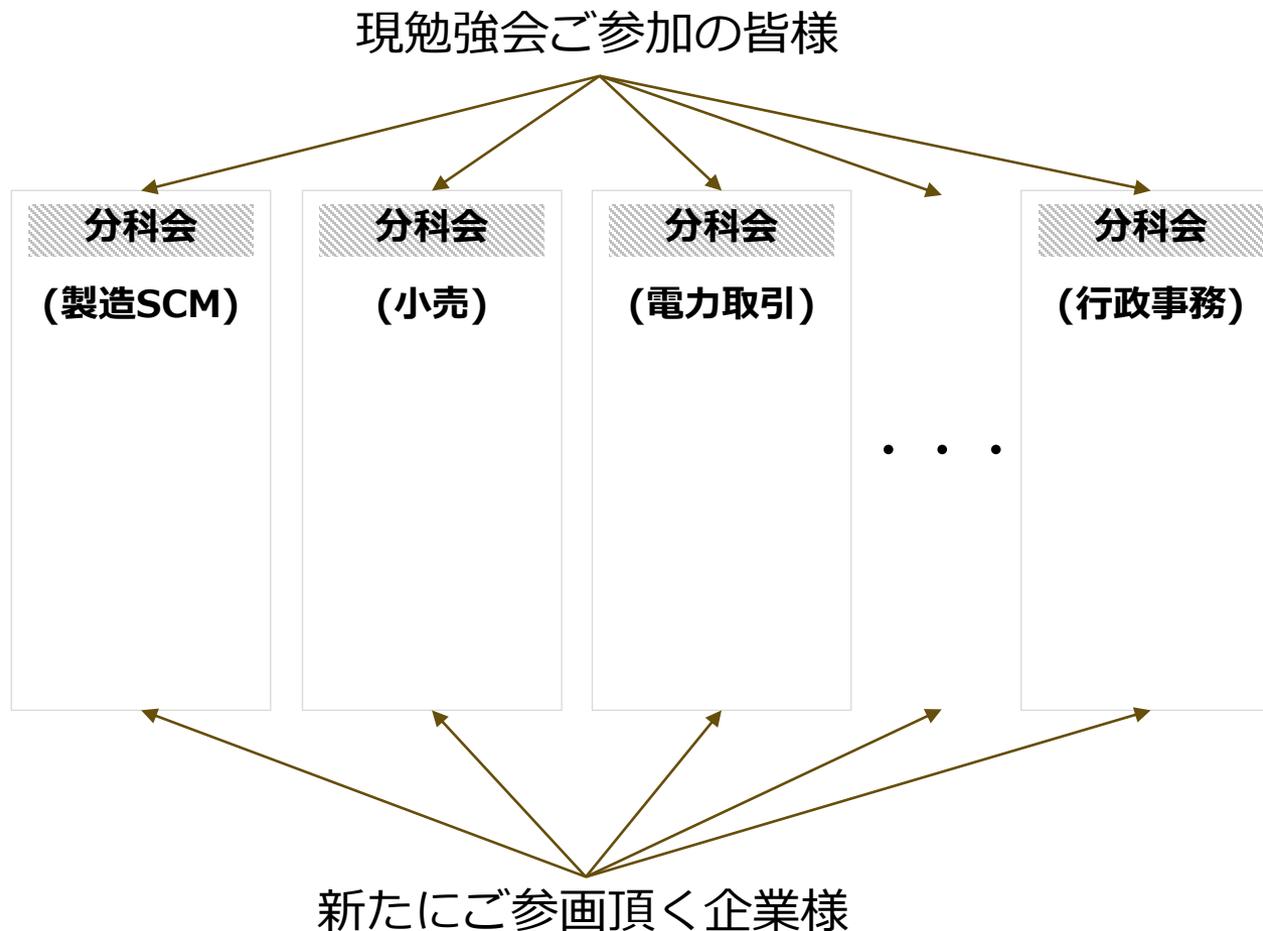
分科会	企業	分科会に参加する企業	<ul style="list-style-type: none"><li>ユースケースのシナリオ検討</li><li>ビジネス側のシステムとの連携の検討</li></ul>
	発行体	デジタル通貨の発行・管理を行う役割を想定	
	開発会社		<ul style="list-style-type: none"><li>デジタル通貨PFの付加領域のプログラミング</li></ul>
	事務局		<ul style="list-style-type: none"><li>分科会のロジ</li></ul>
	アドバイザリー	法・制度・経済的観点に関しアドバイスを提供する有識者	<ul style="list-style-type: none"><li>各分科会への参加(必要に応じ)</li><li>法的、その他課題の検討、解決策の提示</li></ul>
	オブザーバー		<ul style="list-style-type: none"><li>情報共有、意見交換</li></ul>
	全体事務局 (ディーカレット)		<ul style="list-style-type: none"><li>全体会の日程調整</li><li>議事録作成</li><li>全体会のファシリテーション</li></ul>

## 今後の推進体制 - 会議体

	分科会	全体会
概要	ユースケースの検討 付加領域の設計 PoCの詳細計画 など	各分科会からの情報共有 共通課題の検討 など
頻度/日程	別途調整 ～本年度内を想定	年度内3回程度を想定 実施日程は別途調整
参加者	別途決定 (勉強会内外からの有志企業など)	分科会参加企業 + アドバイザリー・オブザーバー
運営	各分科会	全体事務局 (ディーカレット)
会場	各分科会で決定	原則オンライン開催

## 今後の推進体制 - 参加者

間口を広げ、実現に向けての検討を深めていく



## 引き続き検討すべき課題

### デジタル通貨の発行主体

- ・ 銀行とするか、銀行以外の企業も発行し得るものとするか

### デジタル通貨の法的・制度的位置付け

- ・ 為替取引？暗号資産？前払式支払手段？投資信託受益証券？その他？

### デジタル通貨の裏付資産の要否およびそのスキーム

- ・ 発行主体への規制の態様ともかかわる
- ・ 別段預金？倒産隔離主体による保有？信託？日銀当座預金？

### デジタル通貨の発行・流通の経済的影響

- ・ 銀行の資金仲介・資源配分への影響
- ・ ストレス時の流動性フローへの影響

### デジタル通貨が媒介するデータのガバナンス

- ・ データの利用者の範囲など

# 第8回 アジェンダ

1. 今後の推進計画 . . . 30分

2. 追加のPoC案 . . . 30分

3. 事務局より連絡事項 . . . 5分

# 各ユースケースへ関心の高い企業

## 各ユースケースへ関心示している企業

### デジタル通貨のユースケース例

1. 製造業のサプライチェーンと支払決済の連携
2. 小売業の納入チェーンと支払決済の連携
3. 電力取引と支払決済の連携
4. 物流と資金決済の連携
5. 金融取引および関連事務の効率化
6. 貿易金融におけるデジタル通貨の活用
7. 電子マネーと預金口座の連携
8. 銀行間決済へのデジタル通貨の活用
9. 地域通貨への活用
10. 行政事務との連携

### 関心をお示しの企業（勉強会参加者）

- 金融機関、製造業関連企業
- 金融機関
- 金融機関、通信関連事業者
- 金融機関
- 金融機関
- 金融機関、開発協力企業
- サービス提供企業
- 
- 金融機関
- 金融機関、省庁

### 関心をお示しの企業（勉強会非参加者）

- 製造業向けシステム企業、製造業
- 小売流通企業、小売流通系銀行
- 電力会社数社、電力事業者、再エネ発電事業者
- 陸運業者、空輸業者
- 証券会社、信託銀行、再エネ発電事業者
- 銀行、製造業、空運業者
- 空運業者、決済事業者
- 
- 小売事業者、電力会社、自治体、銀行、小売流通系銀行  
自治体

(上記以外)

11. ポイントインセンティブ/PFとの連携
12. エンタメエリアでの活用
13. グループ経済圏向けの活用
14. 貸出債権取引における金融機関間の精算への活用
15. 決済事業者の加盟店精算への活用
16. 保険料や保険/給付金における活用
17. デジタル通貨Walletのセキュリティ

- 金融機関、通信関連事業者
- 通信関連事業者

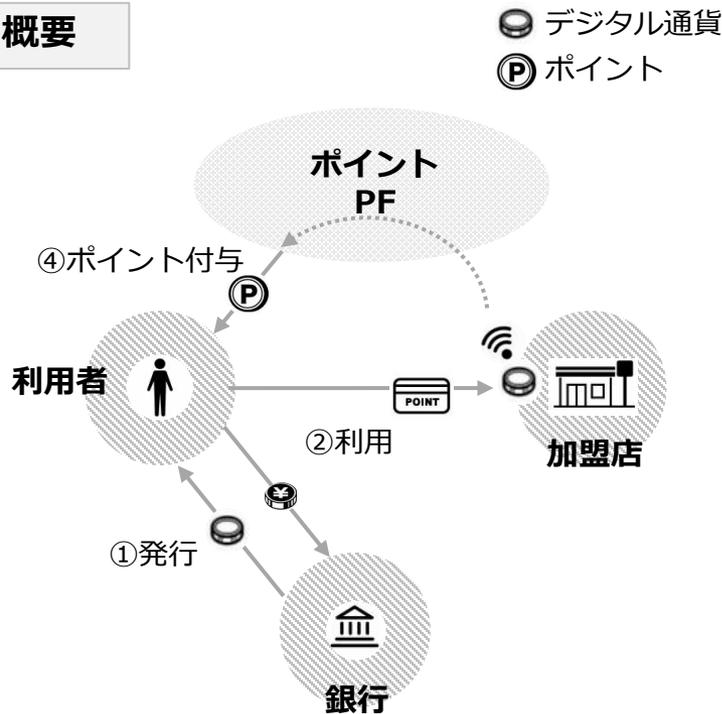
- 空運業者、金融機関
- 金融機関
- ネット銀行、生損保会社
- 金融商品取引業者
- 決済事業者
- 生損保会社
- セキュリティ会社

# 1 1. ポイントインセンティブPFとの連携

## 目的

- ポイントPFとの連携によるポイント経済圏の活性化の実証

## 概要



- ①デジタル通貨を店舗で利用する
- ②スマートコントラクトが実行される
- ③ポイントPFと連携し自動でポイントが付与される

※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

## 検証内容

### ビジネス

- ・支払～ポイント付与までの業務的な実現性の検証、課題の洗い出し

### 技術

- ・ポイント付与のスマートコントラクトの実行検証
- ・ポイントPFとの連携の実現性検証、課題洗い出し

### 法制度

- ・銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し

### 効果

- ・ポイント経済圏の活性化の検証

## 実施環境

- ・業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- ・各社システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

## 参加者・役割

### 銀行

- ・銀行発行スキームの検討
- ・デジタル通貨の発行・管理
- ・裏付け資産の管理

### ポイントPF/加盟店

- ・PoCシナリオ作成
- ・PoCシナリオ実証環境準備
- ・シナリオ実行・検証

### 事務局/開発協力企業

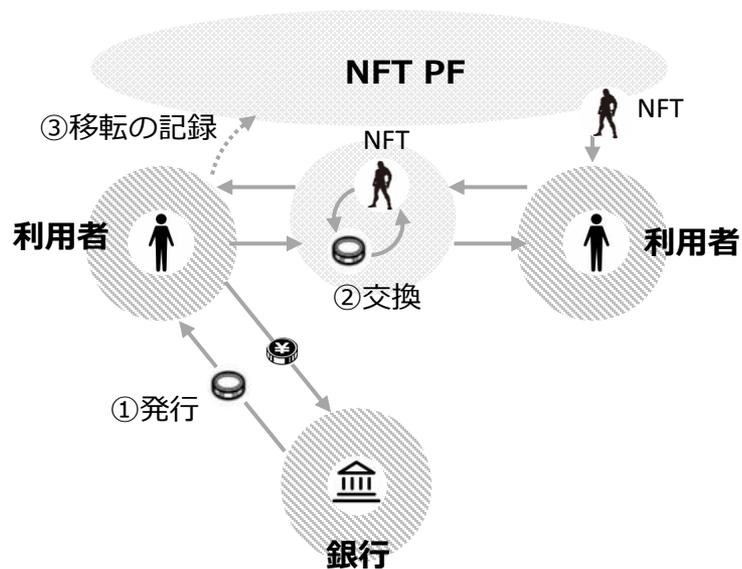
- ・スマートコントラクトの定義
- ・PoCのシステム構築/環境準備

## 1 2. エンタメエリアでの活用

### 目的

- NFT取引へのデジタル通貨活用の検証

### 概要



- ①デジタル通貨を発行する
- ②NFT(ゲームキャラクター等)とデジタル通貨を同時に受け渡す
- ③NFTのブロックチェーン上でトークンの移転が記録される

※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

### 検証内容

- |      |                              |
|------|------------------------------|
| ビジネス | ・ビジネス上の検証、課題の洗い出し            |
| 技術   | ・NFTとデジタル通貨を同時に交換する仕組みの技術的検証 |
| 法制度  | ・銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し          |
| 効果   | ・NFT取引における取引リスク低減の検証         |

### 実施環境

- ・業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- ・各社システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

### 参加者・役割

- |            |  |
|------------|--|
| 銀行         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行発行スキームの検討</li> <li>・デジタル通貨の発行・管理</li> <li>・裏付け資産の管理</li> </ul> |
| NFT PF     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PoCシナリオ作成</li> <li>・PoCシナリオ実証環境準備</li> <li>・シナリオ実行・検証</li> </ul> |
| 事務局/開発協力企業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートコントラクトの定義</li> <li>・PoCのシステム構築/環境準備</li> </ul>               |

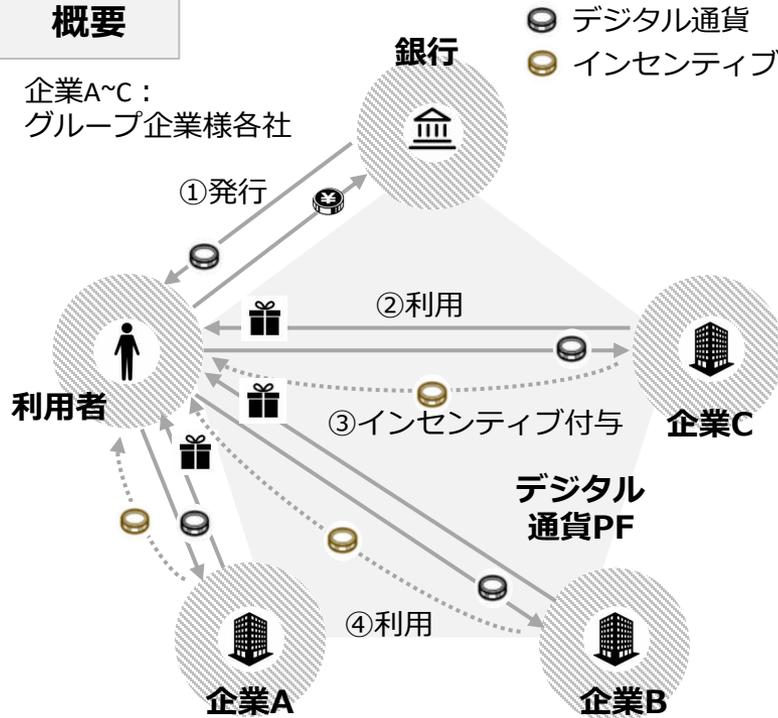
# 13. グループ経済圏への活用

## 目的

- デジタル通貨によるグループ経済圏活性化の実証

## 概要

企業A~C:  
グループ企業様各社



- ① デジタル通貨を発行する
- ② デジタル通貨をグループ内の商品/サービス購入に利用する
- ③ インセンティブを付与する
- ④ グループ内の別の商品/サービス購入にもデジタル通貨を利用する

※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

## 検証内容

### ビジネス

- 取引単位に精算を実行する場合の業務的な実現性の検証、課題の洗い出し

### 技術

- インセンティブ付与のスマートコントラクトの検証
- グループ内各社システムとの連携等、アーキテクチャの実現性検証、課題洗い出し

### 法制度

- 銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し

### 効果

- 経済圏活性化の検証

## 実施環境

- 業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- 各社システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

## 参加者・役割

### 銀行

- 銀行発行スキームの検討
- デジタル通貨の発行・管理
- 裏付け資産の管理

### グループ企業各社

- PoCシナリオ作成
- PoCシナリオ実証環境準備
- シナリオ実行・検証

### 事務局/開発協力企業

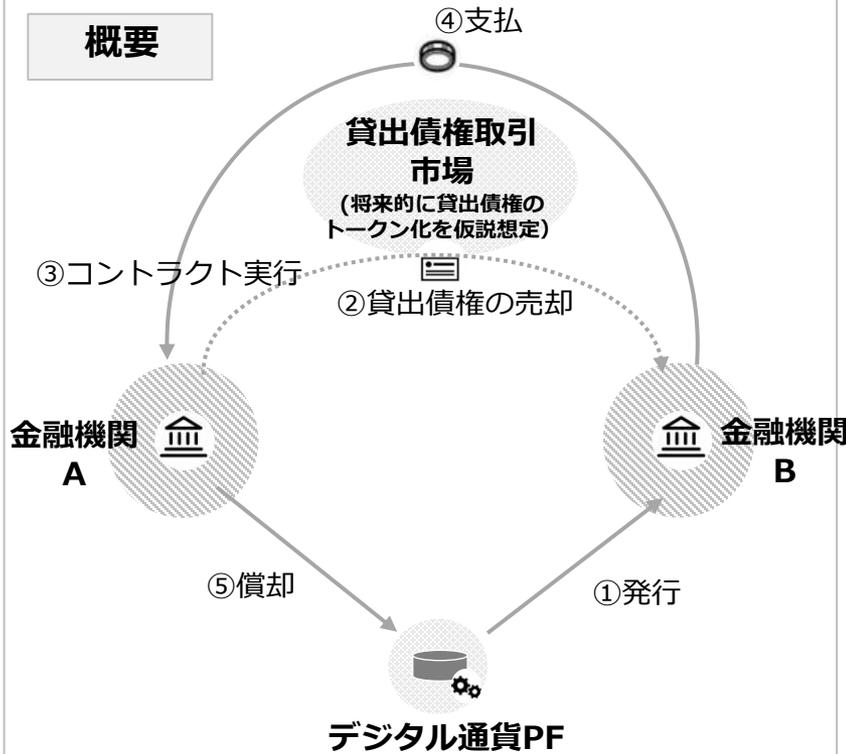
- スマートコントラクトの定義
- PoCのシステム構築/環境準備

# 1 4. 貸出債権取引における金融機関間の精算への活用

## 目的

- 貸出債権（シンジケートローン等）取引における金融機関間の精算と業務効率化の検証

## 概要



- ① AとBが共通で利用できるデジタル通貨を発行する
  - ② 貸出債権を売却する
  - ③ 取引コントラクトが実行される
  - ④ デジタル通貨で支払いが実行される
  - ⑤ (必要性に応じ) デジタル通貨を償却する
- ※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

## 検証内容

- |            |  |
|------------|--|
| <b>業務</b>  | • 貸出債権取引の業務的な実現性の検証と課題の洗い出し  |
| <b>技術</b>  | • 貸出債権情報のトレーサビリティの検証と、将来的なトークン化可否の検証<br>• スマートコントラクトによる貸出債権取引に関する利払・自動精算や、既存システムとの連携等の検証 |
| <b>法制度</b> | • 銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し   |
| <b>効果</b>  | • 業務効率化の効果検証   |

## 実施環境

- 業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- 各金融機関システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

## 参加者・役割

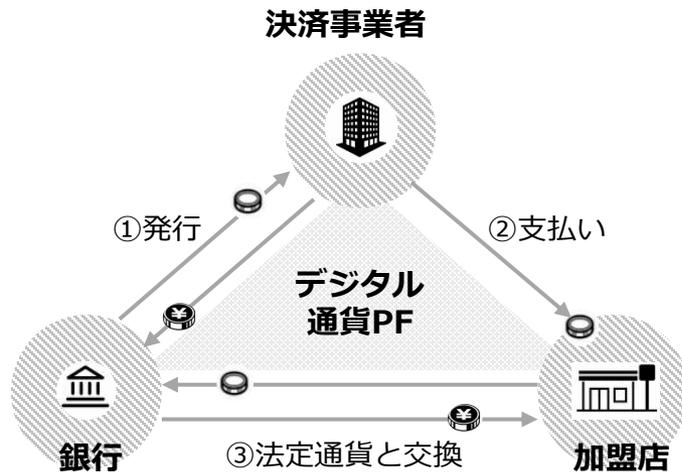
- |                   |   |
|-------------------|---|
| <b>金融機関</b>       | • 銀行発行スキームの検討<br>• デジタル通貨発行/管理、裏付資産の管理<br>• PoCシナリオ共同作成 |
| <b>金融商品取引業者</b>   | • PoCシナリオ共同作成<br>• シナリオ実行・検証                            |
| <b>事務局/開発協力企業</b> | • スマートコントラクトの定義<br>• PoCのシステム構築/環境準備                    |

# 15. 決済事業者の加盟店精算への活用

## 目的

- クレジットカード会社の加盟店払いにおけるコスト低減の検証

## 概要



- ① デジタル通貨を発行する
  - ② 決済事業者から加盟店へデジタル通貨で支払を行う  
(現状と比較し、高頻度での入金を想定)
  - ③ 加盟店は必要に応じて、デジタル通貨を法定通貨に交換する
- ※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

## 検証内容

- |      |   |
|------|---|
| ビジネス | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟店支払い業務における実現性の検証、課題の洗い出し</li> </ul>       |
| 技術   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存システムとの連携等、アーキテクチャの実現性検証、課題洗い出し</li> </ul> |
| 法制度  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し</li> </ul>               |
| 効果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支払サイクルの高頻度化の検証</li> </ul>                   |

## 実施環境

- ・業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- ・各社システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

## 参加者・役割

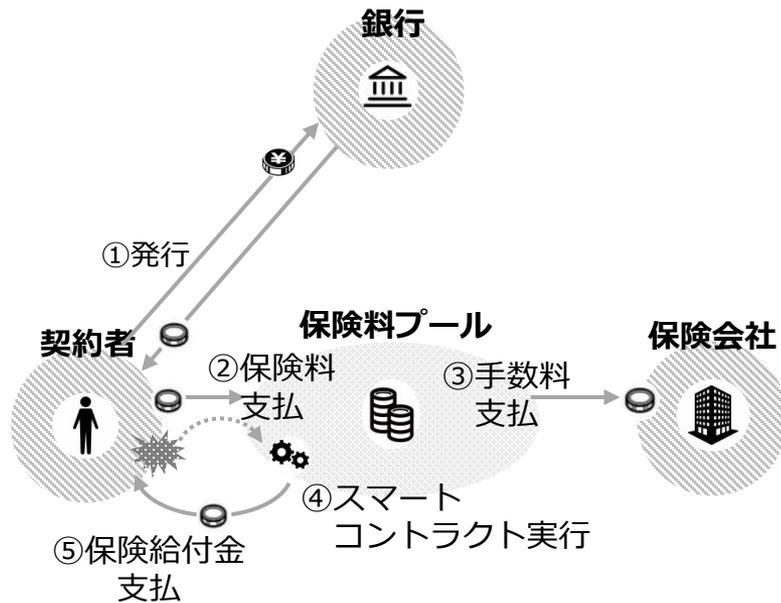
- |            |  |
|------------|--|
| 銀行         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行発行スキームの検討</li> <li>・デジタル通貨の発行・管理</li> <li>・裏付け資産の管理</li> </ul> |
| 決済事業者/加盟店  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PoCシナリオ作成</li> <li>・PoCシナリオ実証環境準備</li> <li>・シナリオ実行・検証</li> </ul> |
| 事務局/開発協力企業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートコントラクトの定義</li> <li>・PoCのシステム構築/環境準備</li> </ul>               |

# 16. 保険料や保険/給付金支払における活用

## 目的

- 保険料や保険/給付金支払における業務効率化、サービス向上の検証

## 概要



- ① デジタル通貨を発行する
  - ② 契約者がデジタル通貨で保険料を支払う
  - ③ 保険料プールから保険会社へ手数料が支払われる
  - ④ 事故等の保険金支払いのトリガーを検知し、スマートコントラクトが実行される
  - ⑤ デジタル通貨で保険金が支払われる
- ※PoCでの実際のシナリオ実施範囲は要検討

## 検証内容

- |      |                                  |
|------|----------------------------------|
| ビジネス | ・ビジネス的な実現性の検証、課題の洗い出し            |
| 技術   | ・スマートコントラクトによる保険金支払い自動化の技術的検証    |
| 法制度  | ・銀行発行に係る法制度上の課題洗い出し              |
| 効果   | ・業務効率化の検証<br>・保険金支払いのサービス向上の効果検証 |

## 実施環境

- ・業務・システム共にPoC向けの仮想的な環境、または本番に則した環境で実施(参加企業にて判断)
- ・各社システムからAPIをコールし、デジタル通貨PFに接続

## 参加者・役割

- |            |  |
|------------|--|
| 銀行         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行発行スキームの検討</li> <li>・デジタル通貨の発行・管理</li> <li>・裏付け資産の管理</li> </ul> |
| 保険会社       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・PoCシナリオ作成</li> <li>・PoCシナリオ実証環境準備</li> <li>・シナリオ実行・検証</li> </ul> |
| 事務局/開発協力企業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートコントラクトの定義</li> <li>・PoCのシステム構築/環境準備</li> </ul>               |

# 第8回 アジェンダ

1. 今後の推進計画 . . . 30分
2. 追加のPoC案 . . . 30分
3. 事務局より連絡事項 . . . 5分

***End***